

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)
都市計画に係る住民説明会の主な意見と回答
【加古川市】

日 時	会 場	参加人数
令和5年12月14日(木) 19:00～20:30	別府公民館 大ホール	266名
令和5年12月19日(火) 19:00～20:30	平岡公民館 大ホール	191名
令和5年12月20日(水) 19:00～20:30	尾上公民館 大ホール	48名
令和5年12月22日(金) 19:00～20:20	加古川市民会館 大会議室	62名

【特記事項】

- ※1 播磨臨海地域道路に直接関係がないと思われる意見及び資料の問い合わせ等に関する内容は割愛しています。
- ※2 同様の主旨の意見はまとめています。
- ※3 ジャンクションやインターチェンジの名称は全て仮称です。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主な意見		回答
意見の趣旨	人口や自動車利用者等が減少する中で本道路を整備する必要があるのか。	<p>本道路の必要性については、人口減少も踏まえて検討しています。兵庫県的人口は2015年時点の553万人に対し、2050年時点で423万人と約76%に減少すると予測されています。交通量は人口のみに比例しませんが、仮に人口と同様に交通量が減少した場合でも、国道2号バイパスの交通容量は不足しており、本道路の必要性は変わらないと考えています。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開通時点での人口予測はしているのか。 ・ 少子高齢化社会で免許証返納者の増加やトラックドライバーが減少していくが、この道路は必要なのか。 ・ 人口が減ると産業交通も減ってくる。完成時点の需要はどの程度見込んでいるのか。 ・ アンケートの際に示されている加古川・内陸ルートの実業費が5,900億円であり、10mあたりで1.8億円もかかるが、整備する必要があるのか。 ・ 人口が減少しても必要な道路であるということを綿密に把握し、丁寧に説明して行ってほしい。 	
主な意見	本道路が整備されると渋滞や事故がなくなるのか。	<p>本道路の整備により国道2号バイパスの交通量は減少すると予測しており、交通量の減少に伴い渋滞に起因する交通事故も削減できると考えています。</p>
主な意見	人口減少、物流課題、CO2排出削減に応えるために、船舶を主としたモーダルシフトを優先すべき。二見や播磨新島の港湾施設の強化・有効活用をした方がよい。	<p>モーダルシフトの取り組みも重要ですが、国道2号バイパスの渋滞などの播磨臨海地域の課題を踏まえると本道路は必要であると考えています。</p>

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	4つのルート帯からどのように内陸・加古川ルートを選定したのか。	<p>計画段階評価では4つのルート帯が比較検討されており、内陸加古川ルートと内陸明石ルートを検討した結果、加古川ルートは住宅等への影響が少なく、明石西IC付近で発生している渋滞も回避できることから選定されています。次に、内陸ルートと沿岸ルートを検討した結果、内陸ルートは臨海部や国道2号バイパスからの距離が近いことからアクセスに優れ、国道2号バイパスからの交通転換が期待できます。また、両ルートとも災害時の活用が期待できますが、内陸ルートは住居の近くを通り活用効果がより高いことから内陸ルートが選定されています。</p> <p>なお、4つのルート帯のうち、「製造業の活性化、投資促進」「観光周遊の促進」「交通事故の削減」「災害に強いまちづくり」の4つの政策目標の達成について、最も効果が期待できるのが内陸・加古川ルートです。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、海の方を通ると聞いていた。 ・明石市は、明石ルートに反対していたのではないかと。加古川市の認識はどうか。 	
意見の趣旨	「当面、都市計画・環境影響評価を進める区間」に含まれていない、明石西JCT以東及び広畑IC以西の計画はどのようなになっているのか。	<p>明石西JCT以東及び広畑IC以西は、「当面、都市計画・環境影響評価を進める区間」には含まれていませんが、本道路の全体計画50km区間には含まれており、今後検討される予定です。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・第二神明道路付近が渋滞すると思うが、どう考えているか。 ・50km全体が繋がらないと意味がない。今回計画対象外の両端区間の予定はあるか。 	

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	計画段階評価ではどのように住民意見を聴取したのか。	<p>平成29年度と令和元年度にアンケート、ヒアリング、オープンハウスを実施し、「政策目標の妥当性」、「ルート帯を検討するにあたり重視すべき事項」などについて、意見聴取されています。アンケートの対象者は、国道2号周辺地域の住民を無作為抽出する方法等により選ばれています。また、オープンハウスはショッピングモール等にコーナーを設けて実施されています。1つ1つの意見に対して個別に返答はされていません。</p> <p>2回目の意見聴取の結果では、約8割の方から提示したルート帯案が地域、交通の課題の解消に効果的であるとの意見がありました。また、4つのルート帯から選定する際に重視すべき項目として、7割以上の方から「製造業の活性化・投資促進」「交通事故の削減」「災害に強いまちづくり」を重視してほしいとの意見がありました。</p> <p>なお、アンケート等の結果については、国土交通省のホームページで公表されています。</p> <p>○平成29年度結果 https://www.kkr.mlit.go.jp/himeji/torikumi/road/project/harimarinkai/pdf/en22_siryoy1.pdf</p> <p>○令和元年度結果 https://www.kkr.mlit.go.jp/road/other/social_capital/ok0bp1000006amp-att/shiryoy1.pdf</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果が住民に伝わっていない。 ・アンケート等の設問内容は。 ・誰から意見を聴取したのか。 ・意見に対する返答はどのようにしたのか。 ・賛否の数は。 	
主な意見	優先区間の絞り込みの中で、3つの区間を優先的に着手すべきではとの意見があったが、尾上地区は外れている。当時から状況が変わってきており、優先整備箇所を見直してほしい。	平成28年5月の近畿地方小委員会で示されたのは、あくまで優先区間の案となります。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	住民の意見を伺いながら、都市計画案を作成するのであれば、住民の意見や反対等があれば、変更はあり得るのか。	今回の説明会で提示させていただいた計画は素案であり、決定していません。ただし、現在の案は県と沿線市町が「できるだけ地域への影響が少ないルートになっているか」という観点で確認し、道路としての安全性を確保した上で、地域への影響が少ない計画となっていると判断しており、現案が最適であると考えています。
主 な 意 見	別府は住宅密集地なので、地下を通せないのか。	地下化した場合、津波や河川氾濫時に浸水する危険性があること等から、高架構造としています。
主 な 意 見	高架構造で高さが11mになると家も田も日陰になる。土工構造にすることは検討しなかったのか。	土工構造では、高架構造よりも支障範囲が大きくなります。また、横断できる箇所が限定的になるため、地域分断にも配慮し、土工構造よりも往来しやすい高架構造としています。
主 な 意 見	第二神明の現明石西料金所は移転するのか。	明石西料金所は移転しない計画としています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	高架橋の橋脚形状は。	事業実施段階で検討することになります。
主 な 意 見	新幹線の上を超えるのは危険ではないのか。	提示したルート・構造は、鉄道事業者と協議しており、危険ではないと考えています。
主 な 意 見	平岡播磨ICが接続する中野東交差点は構造が複雑で事故が多い。何故その交差点に接続するのか。	現在、国道250号(明姫幹線)は西向きが平面構造、東向きが立体構造です。本道路を整備する段階で、東向きも平面構造とし、その上部を本道路が通過し、中野東交差点に平岡播磨ICを接続する計画としています。中野東交差点周辺の道路については、次回のアクセス道路等の説明会で説明します。
主 な 意 見	なぜ、設計速度が80km/hなのか。国道2号姫路バイパスは70km/hである。	設計速度は、80km/hです。国道2号姫路バイパスの70km/hは公安委員会が規制している規制速度です。設計速度80km/hとは80km/hで走行しても安全に走行できる構造で設計しているとの意味であり、規制速度が何km/hになるかは、供用前に公安委員会により決定されます。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	休憩所等の施設(SA・PA)はできるのか。	休憩所等の施設(SA・PA)は計画していません。
主 な 意 見	都市計画決定はいつ頃を目指しているか。	現時点でスケジュールは未定です。令和6年度にアクセス道路等の説明会を予定しており、その後、環境影響評価の説明会を行います。
主 な 意 見	意見聴取は2度で終わる予定か。	現在は都市計画案を作成するため、皆様からご意見を伺っている段階であり、公聴会等でもご意見を伺い都市計画案を作成します。その後は、都市計画案を縦覧し、意見書という形でご意見を伺います。
主 な 意 見	説明会の時間設定について、どの様に考えるのか。	説明会の時間設定については、県と市で協議し、平日・夜間の開催としました。他市町では休日の昼間にも説明会を開催しており、休日の説明会が良い等のご意見があれば、アクセス道路等の説明会の時間設定については検討します。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	<p>詳細な図面等の資料は提供いただけないのか。また、説明資料や議事録は公表されるのか。</p>	<p>アクセス道路等の説明会ではより詳細な図面を提示します。また、説明資料や主な意見と回答をすべての説明会が終了した後に、ホームページで公表する事としています。</p> <p>なお、電子データ(PDF)をホームページで公表していますので、データ上で拡大して確認いただくことも可能です。</p>
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・示されているルートはどのくらいか。 ・別府で説明会をしているのだから、別府を中心にした拡大図を見たい。 ・所有地・所有建物が抵触しそうな位置にあり心配である。 ・他の説明会会場での意見等は共有されないのか。 ・説明会の資料は県ホームページにいつ掲載するか。印刷は可能か。 	
主な意見	<p>現段階から建築制限はかかるのか。</p>	<p>現時点では都市計画決定されていないため、都市計画法に基づく建築制限はかかりません。都市計画決定後は一定の制限がかかり土地の売買の際に重要事項説明の対象になります。現時点で土地の売買を検討されているのであれば、混乱を生じさせないために都市計画手続がなされていることを売却先へ伝えていただくようお願いします。</p>
主な意見	<p>建築制限はいつからかかるのか。</p>	<p>都市計画決定時期は未定ですが、決定後は、建築確認時に都市計画法第53条に基づく許可が必要となります。</p>

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	播磨臨海地域道路の交通容量は。	設計基準交通量※は72,000台/日です。 ※車線数の決定の基準となる交通量
主 な 意 見	交通量予測の資料は提供して貰えるのか。	交通量の予測に関する資料は提供しません。
意 見 の 趣 旨	環境への影響について説明していただきたい。	環境への影響については、環境影響評価手続の中で調査・予測・評価を行います。今後、説明会を開催し、調査・予測・評価の結果と影響が生じる場合の環境保全措置(遮音壁・貴重種の移植等)について説明させていただきます。 なお、大気質については、近年、自動車の排ガス対策が進み、自動車による大気汚染が減っています。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口密集地を通るため、騒音、粉じん等の環境対策を、十分やっていたきたい。 ・本道路付近に自宅や田があり、健康上や田に影響がないか心配しているが、補償はしてもらえるのか。 ・加古川BPの側道については中学校の通学路にも利用されている。子ども達のために整備する道路なので、子ども達の状況を踏まえて環境などをしっかりと検討してほしい。 ・騒音について、住民に対する対応等はどう考えているか。 	

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	IC を南北の道路に繋ぐが、南北の道路は非常に渋滞している。海側から風が吹き、排ガスや粉塵が内陸部に流れる。環境影響評価ではどのような調査をいつ頃するのか。	調査は完了しており、予測・評価を行っている段階です。風向、風速についても調査を行っています。環境影響評価の説明会では、騒音や大気の評価結果等について説明します。
主 な 意 見	自宅が播磨臨海地域道路と連続立体交差事業が重なる付近にあり、健康上どうなるか心配している。	播磨臨海地域道路の影響を検討しており、連続立体交差事業の影響については別途、連続立体交差事業において検討することになります。
主 な 意 見	環境影響評価準備書はいつ完成するか。都市計画決定までに準備書は公開されるのか。	準備書の完成時期は未定です。今後、アクセス道路等の説明会、公聴会を経て都市計画案を作成し、都市計画案の公告、縦覧と併せて準備書も公告、縦覧するため、公開までには時間を要します。
主 な 意 見	環境影響評価準備書の作成責任者は。準備書の情報公開請求先を教えてください。	今回は、都市計画決定権者が環境影響評価の手続を行うため、兵庫県が環境影響評価実施者となり、情報公開請求先は兵庫県になります。準備書については現在作成中ですので、公告・縦覧まで待っていただくようお願いします。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	環境影響評価方法書の意見書の提出について、周知ができていなかったのではないかと。今回のような説明会を開催したのか。今後どのように改善し周知していくのか。	方法書の手続は広報紙等で周知しており、加古川市においては別府公民館、尾上公民館、平岡公民館等でも説明会を開催し、意見書を受け付けました。今回の説明会では、受付票に周知に係るアンケートも設けており、効果的な周知方法を検討した上で、準備書の説明会を開催します。
主 な 意 見	環境影響評価方法書の基準は現在の基準よりも古い基準を使っているのではないかと。	方法書の基準については、作成時点の基準で作成しております。
主 な 意 見	加古川に橋脚が立つことは自然の摂理に反することとっており、今まで通り漁業ができるか心配である。	事業実施段階において、漁業への影響について配慮します。
主 な 意 見	大気汚染等への考えは。加古川市ではゼロカーボンシティの実現に向け取り組みがなされているが、相反する問題ではないかと。	加古川市では、ゼロカーボンシティ宣言を表明し、脱炭素に向けた色々な取り組みを行っています。大気汚染に関しては、環境影響評価の中で調査・予測・評価を行い、必要に応じて対策をとるよう考えています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
意見の趣旨	事業のスケジュールは。	事業のスケジュールは未定です。都市計画決定後に事業化し、測量、調査、設計、用地買収というステップを踏んで工事となります。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定後のスケジュールは。 ・用地買収までどれくらいかかるのか。 ・事業の流れの説明があったが、それぞれの項目はいつ頃になるのか。 ・開通時期はいつか。 	
意見の趣旨	用地買収が必要となる区域はどの範囲か。	道路の区域は、基本的には用地買収させていただきます。配布資料の赤着色範囲は本線、JCT・ICに必要な道路の区域で、アクセス道路等の説明会ではアクセス道路等に必要な区域について説明させていただきます。また、都市計画決定しない管理用の側道や機能回復道路、工事用道路等については、事業実施段階で検討するため、現在示している範囲外も買収となることがあります。
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・どのくらいの幅が立ち退きの対象になるか。 ・用地買収する地番は解らないのか。 ・本道路がかかるところはすべて立ち退きになるのか。 	

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	自宅敷地が一部でも計画区域に重なれば立ち退き対象か。	敷地の一部が買収対象となる場合は、残地で居住を継続できることもあります。
意 見 の 趣 旨	補償はどのように行われるのか。	一般的には、事業実施段階で補償基準に則り補償させていただきます。 なお、代替地は一般的には各々で探していただくこととなりますが、市とも相談し、代替地を紹介できる場合もあります。
主 な 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・立ち退きの際は、同等の代替地を用意してもらえるのか。 ・太陽光パネルを設置しているが、補償費は予算に含まれているか。 ・米を作っているがルートに近接している。何か考えてもらえるのか。 ・橋桁が家の柱に1本でもかかったら、家1軒が購入できるお金の補償があるとの噂が先行しているが、本当なのか。 	
主 な 意 見	代替地は地区内にあるのか、町内会は存続できるのか。	地域コミュニティの維持や活性化は、まちづくりにおいて重要な要素であることは十分認識しています。各町内会等で色々な課題を抱えているのも認識していますので、今後、説明会等で意見を伺いながら、地域固有の課題を解決するよう考えていきます。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	暫定2車線で整備するのか。	現時点では未定です。
主 な 意 見	側道等は整備されるのか。	維持管理に必要な側道や工事用道路、機能回復道路などについては、事業実施段階で検討します。なお、住宅近接部で道路本線部外側に約8mの環境施設帯を計画していますが、環境施設帯の使い方(側道、植樹帯の設置等)は事業実施段階で検討することになります。
主 な 意 見	道路工事中に地震が来た場合でも工事を最後までやってもらえるのか。	南海トラフ地震でも耐えられる構造で整備していくものと考えております。将来に渡り必要な道路であり、工事は継続することになると考えています。
主 な 意 見	地質調査は行っているのか。	現時点では、既往のデータより地質を把握しており、詳細な地質調査については、事業実施段階で実施します。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	地元の協力や負担はあるのか。	現地調査や用地交渉等の各段階で協力を求めることがあります。
主 な 意 見	この付近は地盤が緩いため、杭を深くまで入れる必要があり、工事費も高くなると思うので、よく検討していただきたい。	事業実施段階で検討します。
主 な 意 見	播磨臨海地域道路は災害に強い道路か。	播磨臨海部は液状化や洪水・津波による浸水等で一般道路の寸断が懸念されますが、本道路は高架構造であることから、一般道路が寸断されても本道路を利用し、避難や物資の供給等を行うことができます。また、最新の耐震基準で整備することで災害に強い道路になると考えています。
主 な 意 見	南海トラフ巨大地震に伴う津波を臨海部の地域課題と挙げているのに、現ルートとしたのはどのような考えか。	本道路は高架構造が大半で、最新の耐震基準で整備します。災害が起こった際は、避難や物資輸送として活用されると考えています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	津波襲来時、ICが浸水して使用できないのでは。	仮に浸水した場合でも近隣の浸水していないICからのアクセスは可能と考えています。
主 な 意 見	災害時の避難に役立つと言い切れるか。車が密集するのではないか。	国道2号バイパスと併せ、自動車専用道路のダブルネットワークとして災害時のリダンダンシーを発揮すると考えています。
主 な 意 見	災害時にも十分に機能を発揮するよう検討を進めてほしい。	ご意見として賜りました。
主 な 意 見	内陸輸送(鉄道)や海運輸送に対しても比較検討しているか。	海運や内陸輸送等、道路以外で行っている施策も念頭に置きながら検討を進めています。

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑) 都市計画に係る説明会の主な意見と回答

主 な 意 見		回 答
主 な 意 見	明姫幹線の中野陸橋が撤去される時期は。どのような計画で撤去されるのか。	工事の進め方は未定です。事業実施段階で、詳細な検討を行います。
主 な 意 見	本道路と立体交差する市道潰目池線が現在は1車線で車のすれ違いが困難。播磨臨海地域道路供用に併せて2車線以上の幅の広い道路にしてほしい。	市としても事業実施段階で道路横断の機能回復として要望していきます。